

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:サブプレッションチェンバ関係)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
詳細設計 申し送り事項 No.64	審査会合 (R1.12.17)	-	設置許可 まとめ資料 4条	サブプレッション・チェンバ内部 水質量の考え方の変更につ いて	4条-別紙8- 100	スペクトルモーダル解析モデルについて、サブ プレッション・チェンバサポート位置の質点はサブ プレッション・チェンバの円周方向に剛に固定され ており、構造上の特徴から支持点付近の円周方 向は高振動数にならないと振動しないので、詳細 設計段階で高次モードの影響も評価して説明す ること。	2022/9/12	50Hzまで考慮した床応答スペクトルと設計用床応答スペクトルを用いた耐震評価結果の 比較により、高振動数領域の応答によるスペクトルモーダル解析への影響は十分に小さ いことを確認しました。	NS2-補-027-10-45改01「サブプレッションチェ ンバの耐震評価における内部水質量の考え方 の変更等について」P.58～62(通し頁P.61～ 65)	主な説明事項 【1-8】 (分類【B】)
詳細設計 申し送り事項 No.65	ヒアリング (R1.12.4)	-	設置許可 まとめ資料 4条	サブプレッション・チェンバ内部 水質量の考え方の変更につ いて	4条-別紙8-98	3次元はりモデルを用いたスペクトルモーダル解 析について、過小評価とならないことを詳細設計 段階で説明すること。	2022/9/12 今回回答	3次元はりモデルと適用性確認用解析モデル(3次元シェルモデル)の耐震評価結果の比 較により、評価上厳しい部位であるサブプレッションチェンバサポートに対して、3次元はりモ デルは保守的な結果が得られることを確認しました。またサブプレッションチェンバについ ては、オーバル振動を考慮した場合においても評価結果には十分余裕があることを確認しま した。	NS2-補-027-10-45改02「サブプレッションチェ ンバの耐震評価における内部水質量の考え方 の変更等について」別紙3(通し頁P.113～ 121)	主な説明事項 【1-8】 (分類【A】)
詳細設計 申し送り事項 No.66	ヒアリング (R1.11.19)	-	設置許可 まとめ資料 4条	サブプレッション・チェンバ内部 水質量の考え方の変更につ いて	4条-別紙8-25	サブプレッションチェンバの耐震評価において、流 体解析で算出したスロッシング荷重の考慮法を 詳細設計段階で説明すること。	2022/7/25	サブプレッションチェンバの耐震評価において、スロッシング荷重による応力の評価方法を記 載しました。	NS2-補-027-10-45「サブプレッションチェンバの 耐震評価における内部水質量の考え方の変 更等について」P.61	主な説明事項 【1-8】 (分類【B】)
詳細設計 申し送り事項 No.67	-	-	設置許可 まとめ資料 4条	サブプレッション・チェンバ内部 水質量の考え方の変更につ いて	4条-別紙8-21	(まとめ資料での当社の記載) 水位によりサブプレッションチェンバの固有周期が 変動するため、耐震評価に用いる床応答スペク トルと固有周期の関係に配慮したサブプレッ ションチェンバの耐震評価における水位条件の 設定について説明する。	2022/7/25	通常運転時の耐震評価に重大事故等時に考慮する水位条件を適用することについて、固 有周期と床応答スペクトルの関係を考慮した場合においても保守的な条件であることを記 載しました。	NS2-補-027-10-45「サブプレッションチェンバの 耐震評価における内部水質量の考え方の変 更等について」P.141,145	主な説明事項 【1-8】 (分類【B】)

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:サプレッションチェンバ関係)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.145	サプレッションチェンバの水位の変化と設計用床応答スペクトルとの関係について、評価への影響を説明すること。	今回回答	通常運転時の水位における固有周期と、耐震解析用重大事故等時水位における固有周期の間に床応答スペクトルのピークが存在するが、ピークの増分が小さいこと及び内部水質量が少なくなることから、耐震評価への影響は軽微であることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙10-1(通し頁P.158)	
2	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.108	シェルモデルの両端完全拘束によるサポート取り付け部のばねへの影響について説明すること。	今回回答	ばね剛性の算定はサポート取付部局所を対象としており、仮に変形範囲が境界条件近くに及ぶ場合であっても、境界変形が大きく表れる範囲に対してモデル化範囲は十分大きいので、影響は軽微であることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙4-8(通し頁P.129)	
3	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.31	サプレッションチェンバサポートの剛性の設定方法について説明すること。	今回回答	サプレッションチェンバサポートの剛性の設定方法について記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」P.32,33(通し頁P.35,36)	
4	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.36	3次元はりモデルの適用性について、先行と異なる内容(小円の変形など)についての説明を拡充すること。	今回回答	構造及び評価手法について、先行プラント(女川2号機)との相違点を別紙23として整理しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙23(通し頁P.205~211)	
5	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.172	モデル化における固有周期への影響について、先行プラントと同様の確認を検討すること。	今回回答	解析モデルの要素ごとの固有周期への影響について、検討結果を別紙18に記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙18(通し頁P.189~198)	
6	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.46,57	3次元シェルモデルと3次元はりモデルの周期の差について、妥当性の説明を検討すること。	今回回答	別紙18の検討により、オーバル振動を含むサプレッションチェンバ小円変形の影響により固有周期の差が生じると考えられますが、本文4.2.4及び別紙3の検討結果より、固有周期の差の影響は軽微であり、3次元はりモデルは適用性のあるモデルであることを確認しました。	-	
7	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	全般	モデル化や妥当性検討の方法について、先行プラント(女川)との比較表に纏めて説明すること。	今回回答	先行プラント(女川2号機)との比較表を作成しました。	NS2-他-206「先行審査プラントの記載との比較表(サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について)」	
8	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.145	DB条件についてもSA条件を包絡する水位で評価した方が、床応答スペクトルと固有周期の関係も含めて保守的であることについて、耐震計算書で説明すること。	後日回答			
9	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.24	質点番号ごとの有効質量の対称性について説明すること。	今回回答	解析モデル(図4.1-5参照)において、節点17と49を結ぶ軸がX軸(EW)、節点1と33を結ぶ軸がY軸(NS)であり、各並進質量及び回転質量は、これら質点を中心に対称又は逆対称の関係があります。	-	
10	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.13	解析モデルにおける補強リングの剛性の考え方について説明すること。	今回回答	解析モデルにおいて、補強リングは剛体として扱っていることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」P.11(通し頁P.14)	
11	2022/9/12	NS2-補-027-10-45 改01	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.110	サプレッションチェンバの耐震評価において、評価上一番厳しい部位に対して3次元はりモデルの方が厳しい結果が得られること、オーバル振動の影響は3次元シェルモデルで評価上問題無いことを確認したことを明確にするため、別紙3の冒頭で検討の目的を説明すること。回答内容は、回答整理表のコメントへの回答として整合するように説明すること。	今回回答	本資料での確認内容が明確になるように「1.概要」の記載を修正し、併せて図書構成の見直し及び項目番号等の修正を行いました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙3(通し頁P.113~121)	
12	2022/9/12	NS2-補-027-10-45 改01	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.116	振動モードが分散した場合に荷重が小さく得られることについてわかりやすく説明すること。	今回回答	適用性確認用解析モデル(3次元シェルモデル)において分散した各振動モードにより生じる荷重の総和は、振動モードが分散しない場合と同程度と考えられるが、二乗和平方根により組み合わせるため、得られる荷重が小さくなることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙3-1(通し頁P.113)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への反映箇所	備考
		ヒアリング資料番号	図書種別、目録番号	図書名称	該当頁					
13	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.61	設計用床応答スペクトルで高振動数の影響について配慮されていることを説明すること。	今回回答	今回工認では、スペクトルモーダル解析において50Hzまでの振動モードを適用していることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」P.60(通し頁P.63)	
14	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.61	解析モデルにおける高振動数への影響について記載すること。	今回回答	サプレッションチェンバの主要な振動モードは水平方向及び鉛直方向において0.05秒(20Hz)未満で現れるため、高振動数領域を考慮しない場合においても各部位の応答を考慮した耐震評価が可能であることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」P.61(通し頁P.64)	
15	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	全般	先行プラントにおける検討を踏まえた解析モデルについての検討結果とあわせて、解析モデルの適用性について説明すること。	今回回答	別紙18の検討により、オーバル振動を含むサプレッションチェンバ小円変形の影響により固有周期の差が生じると考えられますが、本文4.2.4及び別紙3の検討結果より、固有周期の差の影響は軽微であり、3次元はりモデルは適用性のあるモデルであることを確認しました。	-	
16	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.70	エビ継部の応力評価におけるFEMモデルへの入力として変位を用いることの妥当性を説明すること。	後日回答			
17	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.110	オーバル振動の影響について、配管貫通部の評価への影響を説明すること。	後日回答			
18	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.60	有効質量比の比較結果について、はりモデルとシェルモデルの関係が水平と鉛直で傾向が異なることについて説明すること。	今回回答	固有値と有効質量比の関係を示すグラフについて、点と点の間を直線で接続するグラフを添付していましたが、点と点の間の有効質量比を一定としてステップ状に接続するグラフに見直しました。変更前のグラフでは、鉛直方向については、3次元はりモデルは適用性確認用解析モデル(3次元シェルモデル)よりも固有値が小さい傾向があるように見えていましたが、変更後のグラフにより、3次元はりモデルは適用性確認用解析モデル(3次元シェルモデル)の固有値とおおむね一致することを確認しました。	NS2-補-027-10-45改02「サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」P.59(通し頁P.62)	
19	2022/9/12	NS2-添2-009-05	耐震(計算書)(VI-2-9-2-4)	VI-2-9-2-4 サプレッションチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.19	モーメントの作用方向について記載すること。	後日回答			
20	2022/9/12	NS2-添2-009-05	耐震(計算書)(VI-2-9-2-4)	VI-2-9-2-4 サプレッションチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.22	断面係数の考え方を説明すること。	後日回答			
21	2022/9/12	NS2-添2-009-05	耐震(計算書)(VI-2-9-2-4)	VI-2-9-2-4 サプレッションチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.15	一次+二次応力の評価を行っていないことについて、評価要否を整理して説明すること。	後日回答			

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:サブプレッションチェンバ関係)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
NO.1～46については、NS2-他-165改01で整理済みのため省略。						
47	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.2,3	資料修正に伴い、項目名及びページ番号を修正しました。	2022/9/21	
48	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.7,24,41,88,92	別紙等を参照する際の記載を統一するため、記載を修正しました。(下線部参照) (旧)(〇〇) (新)(〇〇参照)	2022/9/21	
49	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.8	図2.1-1について、サブプレッションチェンバとベント管の接続部の構造が明確になるように、A部詳細図を追加しました。	2022/9/21	
50	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.9	図2.1-2について、ナット及びワッシャで鉛直方向を固定していることが分かるように、記載を追加しました。	2022/9/21	
51	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.9	図2.1-3について、ベント管の示す位置が正しくなるように、矢印を修正しました。	2022/9/21	
52	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.11,20	「手計算」の記載が不要であるため、記載を適正化しました。	2022/9/21	
53	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.14,69,203	別紙21を引用する箇所を見直し、記載を修正しました。また、局所的な圧力の内容が分かるように記載を追加しました。	2022/9/21	
54	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.14,15	別紙22を引用する箇所を見直し、記載を適正化しました。	2022/9/21	
55	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.14	モデル化の際に内部建造物の質量を含むこと及びベント系の質量は含まないことが分かるように、記載を追加しました。	2022/9/21	
56	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.14,30	ECCSストレーナと共通の地震応答解析モデルを適用する理由が明確になるように、記載を修正しました。(下線部参照) (旧)今回工認ではECCSストレーナ(残留熱除去系ストレーナ、高圧炉心スプレイ系ストレーナ及び低圧炉心系ストレーナ)と共通の地震応答解析モデルを適用するため、 (新)今回工認ではECCSストレーナ(残留熱除去系ストレーナ、高圧炉心スプレイ系ストレーナ及び低圧炉心系ストレーナ)との地震応答解析モデルの共通化を行うため、	2022/9/21	
57	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.22	地震応答解析モデルについて、既工認の180°モデルから今回工認で360°モデルに見直すことが分かるように記載を追加しました。	2022/9/21	
58	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.22,122	本資料内での記載を統一するため、記載を適正化しました。 (旧)ベイ (新)セグメント	2022/9/21	
59	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.25	誤記修正を行いました。(下線部参照) (旧)仮想質量法によるサブプレッションチェンバ内部水の有効質量の算定結果を表4.1-11に示す。 (新)仮想質量法によるサブプレッションチェンバ内部水の有効質量比の算定結果を表4.1-1に示す。	2022/9/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
60	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.25	有効質量比の計算式が明確になるように、記載を追加しました。	2022/9/21	
61	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.25	検討内容に沿った記載に修正しました。(下線部参照) (旧)また、内部水の有効質量を算定する解析プログラムによる比較として、 (新)また、内部水の有効質量を算定する解析手法の違いによる比較として、	2022/9/21	
62	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.25	耐震解析用重大事故等時水位以外の水位においても有効質量比が適切に算定されると確認していることが分かるように、記載を追加しました。	2022/9/21	
63	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.25	表4.1-1について、耐震解析用重大事故等時水位のみの検討を行う理由が明確になるように、注記*1を追加しました。	2022/9/21	
64	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.51~61	表4.2-5について、「振動方向」の記載が不要であるため、削除しました。	2022/9/21	
65	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.63	検討用床応答スペクトルを用いた場合の算出応力は、設計用床応答スペクトルを用いた場合と有効桁数の範囲で等しい結果となったことを明確にするため、記載を修正しました。	2022/9/21	
66	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.66	表4.3-1について、各応力評価点を有する設備、本資料内で応力評価点の説明をする項目、評価における荷重の組合せが分かるように、記載及び注記を追加しました。	2022/9/21	
67	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.70	図4.4-1について、スロッシング荷重を時刻歴荷重として算出していることが分かるように、注記を追加しました。	2022/9/21	
68	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.70	表4.4-1について、2つの荷重がそれぞれ「流体解析で得られるスロッシング荷重」と「耐震評価用スロッシング荷重」であることが明確になるように、記載を修正しました。	2022/9/21	
69	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.71	5.の項目名について、4.との対応を踏まえて修正しました。(下線部参照) (旧)応力解析の評価 (新)応力解析の詳細	2022/9/21	
70	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.72	図5.3-1について、境界条件の表が応力解析における境界条件を示すことが明確になるように、記載を修正しました。	2022/9/21	
71	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.73	FEM解析による応力評価は、個々のサプレッションチェンバエビ継部及びサプレッションチェンバサポート取付位置に対して評価を行うことが分かるように、記載を適正化しました。	2022/9/21	
72	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.74	図5.4-3について、胴一般部の境界は剛結合していることが分かるように、記載を追加しました。	2022/9/21	
73	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.77	表6-1について、既工認では内部水を剛体として扱うことで有効質量による荷重及びスロッシング荷重を包絡していたことが分かるように、記載を追加しました。	2022/9/21	
74	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.87	図2.2-2について、誤記修正を行いました。 (旧)18 (新)180°	2022/9/21	
75	NS2-補-027-10-45 改02	サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.91	2.3と3.2の記載内容を統一するため、記載を修正しました。また、NASTRANにより算出される内部水の有効質量比が保守的な傾向を示す理由について記載を追加しました。(下線部参照) (旧)・・・有効質量比が同等であることを確認したことから、・・・ (新)・・・有効質量比が同等であり、おおむねNASTRANの値が保守的な傾向を示すことを確認した。NASTRANにより算出される内部水の有効質量比は、内部水の流動による内部水の有効質量比の低減が反映されないため、保守的な傾向を示すと考えられる。以上より、・・・	2022/9/21	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
76	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.97	図3.1-1について、右下の図がそれぞれサブプレッションチェンバ断面図と上面を示すことができるように、図を修正しました。	2022/9/21	
77	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.123	本資料内での記載を統一するため、記載を修正しました。 (旧)および (新)及び	2022/9/21	
78	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.141,142	荷重Fについて、有効質量による荷重及びスロッシング荷重を含む内部水全体による荷重であることが分かるように、記載を追加しました。	2022/9/21	
79	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.141	内部水の有効質量 M_E について、流体解析により得られた有効質量比から算出したことが分かるように記載を追加しました。	2022/9/21	
80	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.141	スロッシング荷重が最大となる時刻における最大波高が分かるように、記載を追加しました。	2022/9/21	
81	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.141	誤記修正を行いました。(下線部参照) (旧)耐震解析用重大事故当時水位 (新)耐震解析用重大事故時水位	2022/9/21	
82	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.143	図4.3-2について、縦軸名及び横軸名を修正しました。(下線部参照) (旧)縦軸:フーリエスペクトル,横軸:周波数 (新)縦軸:フーリエ振幅,横軸:振動数	2022/9/21	
83	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.147,151,182	句点が必要であるため、追加しました。	2022/9/21	
84	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.159	図1について、事故シーケンスの出典が分かるように、注記*1を追加しました。併せて、注記番号を修正しました。	2022/9/21	
85	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.160	表1について、耐震評価に用いる水位条件の出典が分かるように、注記*6を追加しました。	2022/9/21	
86	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.178,180	本資料内での記載を統一するため、記載を修正しました。 (旧)注 (新)注記*	2022/9/21	
87	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.200	参考文献の著者名等が分かるように、記載を修正しました。	2022/9/21	
88	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.201	参考文献の参照箇所が明確になるように、一部抜粋して追加しました。	2022/9/21	
89	NS2-補-027-10-45 改02	サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.204	地震動の入力方向について、誤記修正を行いました。	2022/9/21	